

平成30年度（横須賀大津高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

| 項 目 | 目 標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|---|--|--|
| (1) 法令遵守意識の向上 【必須事項】 | 『神奈川県職員行動指針』の周知・徹底を図り、県民の信頼に応え得る高い倫理観の保持に努め、公務外非行を未然に防止するとともに、県民対応の基本を再確認する。 | ○『神奈川県職員行動指針』を毎回の事故防止会議資料として教職員に配付し、不祥事防止の意識を高揚した。 ○職員室の各学年外線電話機の近くには、「適正な電話対応について」（平成24年8月24日）を参照した電話対応の基本的なマナーを分かりやすく貼付してある。 達成状況 公務外非行や電話対応トラブルは見られなかったため、「目標達成」とする。 |
| (2) わいせつ・セクハラ行為の防止 【必須事項】 | 人権感覚の向上に努め、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。 | ○わいせつ・セクハラ行為に係る内容を、7回の事故防止会議で取り上げ、未然防止を図った。 達成状況 わいせつ・セクハラ事案は見られなかったため、「目標達成」とする。 |
| (3) 体罰、不適切な指導の防止 【必須事項】 | 人権意識の向上に努め、体罰・不適切指導を未然に防止する。 | ○行動計画に位置付けた「参加体験型の研修機会」を設け、職員の人権意識を向上させた。 達成状況 複数の職員による丁寧で理性的な指導を推進し、体罰等の不適切な指導は見られなかったため、「目標達成」とする。 |
| (4) 入学者選抜に係る事故防止 【必須事項】 | 入学者選抜に係る事故を未然に防止する。 | ○12月20日に職員啓発・点検資料93（入学者選抜）を活用した事故防止会議を、12月21日、1月11日、15日、18日に研修会を実施し、適切に入学者選抜業務を進めることができた。 達成状況 選抜から合格発表まで、入学者選抜に係る事故はなかったため「目標達成」とする。 |
| (5) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 【必須事項】 | 定期テスト、成績処理に係る事故防止及び進路関係書類に係る事故防止の徹底を図る。 | ○各定期テスト前に事故防止会議を開催したほか、答案の誤廃棄等に係る注意喚起、シュレッダー使用制限を徹底した。 ○成績処理毎に事故防止会議を、10月3日に全教員による調査書点検等を実施した。 達成状況 成績処理及び進学等の出願に係る事故はなかったため「目標達成」とする。 |
| (6) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 神奈川県個人情報保護条例、その他個人情報保護に関するガイドラインに則り情報の適切な管理に努める。 | ○5月9日と7月25日に生徒の個人情報収集に係る事故防止会議を、11月13日に職員啓発・点検資料91（情報セキュリティ・行政文書の対策重要度）、2月27日に職員啓発・点検資料95（児童・生徒の個人情報の収集・取扱）を活用した事故防止会議を実施した。 達成状況 個人情報等の管理、情報セキュリティに係る事故はなかったため「目標達成」とする。 |
| (7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 交通事故、酒酔い・酒気帯び運転の未然防止及び交通法規遵守を徹底する。 | ○11月29日に職員啓発・点検資料92（交通事故防止・交通法規の遵守）を活用した事故防止会議を実施した。 達成状況 職員による交通事故・交通違反はなかったため「目標達成」とする。 |

| | | |
|---------------|--------------------|--|
| (8)業務執行体制の確保 | 適切な業務の執行・進行管理に努める。 | <p>○1月24日に職員啓発・点検資料94（服務規律の遵守）を活用した事故防止会議を実施した。2月7日に少人数による討論形式の事故防止職員わいわいミーティングを実施し、円滑な業務執行のための情報共有や事故防止の相互チェック体制を再確認した。</p> <p>達成状況 適切な報告・連絡・相談、情報の共有化と相互チェック体制の確立に努めたので「目標達成」とする。</p> |
| (9)会計事務等の適正執行 | 会計事務等の適な執行に努める。 | <p>○9月13日に、職員啓発・点検資料89（私費会計基準ののポイント）を活用した事故防止会議を実施し、意識を高揚した。</p> <p>達成状況 監査が適切に行われ、学校徴収金運営協議会における意見聴取を踏まえて私費会計処理を行い、事故はなかったので「目標達成」とする。</p> |

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

学校が生徒・保護者や県民との信頼関係を築き、安心して教育を任される存在であり続けるために不祥事防止の取組みは欠くべからざるものである。このことを全職員が常に肝に銘じ、職務を遂行するよう、様々な機会を捉えて不祥事ゼロプログラムに設定した9項目について1年間を通して予定通り取り組んできた。

事故防止会議や事故防止研修会は、徒に長い時間をかけず、職員会議の冒頭や朝の職員打合せを活用し、昨年度を上回る37回実施することができた。管理職ばかりでなく、総括教諭（グループリーダー）・教諭（サブリーダー）による具体的な指示や呼びかけが、ミス未然に防ぐ危機管理意識を共有するのに効果的であり、緊張感のある職務遂行につながっていると実感している。

今年度、ワークやグループ討議を取り入れ、職員一人ひとりが、より主体的に考え取組むことができる研修会を設定し効果を上げることができた。

平成31年度は、経験の浅い職員とベテラン職員の知識や意識の差を相互に理解しカバーしあい、職員が一体感をもって、不祥事ゼロプログラムに意欲的に取組み、事故不祥事防止を徹底することはもちろん、併せて事故防止会議や事故防止研修の内容・手法をさらに充実させることも課題として取り組みたい。